

2022年7月29日

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム ご担当者様

株式会社マクニカ イノベーション戦略事業本部
サーキュラーエコノミービジネス部 部長
脇坂 正臣

【地方創生SDGs官民連携プラットフォーム】9月6日(火)マッチングイベント 提案内容について

掲題のマッチングイベントについて、下記のとおり(株)マクニカとして参加致したくご検討をお願いいたします。

記

1. 提案タイトル

再生可能エネルギーの地産地消/地域循環共生圏とエネルギーマネジメントの提案

2. 提案内容

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの普及は重要な施策の一つとなりエネルギーの地産地消は大きな課題となる。

化石燃料由来でないエネルギーを導入するにあたり、その地域性や産業、人口などに基づいた計画が必要となる。

再生可能エネルギーは自然に影響を受けるものが多く不安定な電力となる為に雨や風といった自然現象をもとにした発電予測など、供給と需要の

バランスをリアルタイムに監視、制御ができるシステムを構築してゆく必要がある事。また、移動手段においては今後EV車が増えていく事から

EVチャージのデマンド管理など従来では必要とされていないニーズも発生する。

これらの見える化や管理を行う為のエネルギーマネジメントシステムについての提案を実施させていただきます。

また上記とあわせて廃熱発電を紹介させていただきます。

発電素材として生活や企業活動の中で発生するゴミを使用します。

ゴミ問題としての処理場のキャパシティ超え、輸送燃料費、燃料費の高騰によるコスト増は今後も加速してゆくと想定されております。

これらを燃料として、スチーム利用や発電を行う事で安定したエネルギーを得る事ができます。地産地消でのエネルギー利用の一つの方法として

提案をさせていただきますと考えております。

以上